

# 用語集

---

## 用語集

### あ行

用語	説明
新たな交通手段	交通空白地域等への対応として、地域住民の移動手段を確保することを目的として運行する鉄道やバス等の既存公共交通に捉われない新たな公共交通の手法のこと。本交通戦略上の用語であり、デマンド型交通等が該当する。
入込観光客数	日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない者の人数。観光地点及び行祭事・イベントを訪れた人数のこと。
エコドライブ	環境にやさしい自動車の運転方法のこと。急発進をしない、加減速の少ない運転、アイドリングストップ、タイヤの空気圧の適正化等により、燃料消費を抑えると同時に、二酸化炭素の排出を抑制する。

### か行

用語	説明
街路	都市部にある道路のこと。都市計画道路等計画的に整備されることが多い。 ※都市部：市街地を形成している地域又は市街地を形成する見込みの多い地域のこと。道路構造令に基づく。
基幹的公共交通	広域幹線交通の機能を有する公共交通のこと。本交通戦略では、鉄道路線、川越駅または本川越駅を発着する運行頻度が片道 30 本/日以上バス路線を基幹的公共交通と位置付ける。
基幹的交通軸	基幹的公共交通に該当する主要な公共交通路線及び広域幹線交通の機能を有する道路のこと。
居住誘導区域	都市再生を図るため、居住を誘導すべき区域として立地適正化計画で定められる区域のこと。都市再生特別措置法に基づく。
計画基本ゾーン	東京都市圏パーソントリップ調査(PT 調査)における地域単位の一つ。複数の小ゾーン(夜間人口約 15,000 人を目安とし、地区計画の単位となるゾーンレベル)を数個集めて構成し、広域における計画単位として、また、地域としてのまとまりのある交通計画の単位となるゾーンレベルである。(東京都市圏交通計画協議会の定義を一部引用)
郊外型駐車場	中心市街地の外縁部またはその周辺において主に観光を目的とする自動車の駐車場として整備され、中心市街地への自動車交通量を抑制する機能を持つ駐車場のこと。
交通管理者	道路利用者の通行の管理を行う者のこと。本交通戦略では、埼玉警察本部を指す。

用語	説明
交通空白地域	鉄道駅やバス停から離れているため、公共交通の利用が困難な地域のこと。本交通戦略では鉄道駅 800m 圏、バス停 300m 圏以外のエリアを交通空白地域と定義している。
交通事業者	公共交通を運営する主体のこと。鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者が該当する。
交通手段分担率	全体のトリップに対する、ある交通手段を利用したトリップの割合のこと。
交通まちづくり	まちづくりの目標に貢献する交通計画を、計画立案し、施策展開し、点検・評価し、見直し・改善して、繰り返し実施していくプロセスのこと。（交通まちづくり研究会の定義を引用）交通計画とまちづくりを連携したものと捉え、相互の視点を踏まえて行政、住民、交通管理者、道路管理者、交通事業者等が連携して交通施策を進める。
高齢者人口	65 歳以上の人口のこと。
コミュニティサイクル	面的なエリアにおいて、相互利用可能な複数の自転車ポート（貸出、返却場所）が設置され、自転車の貸出・返却が可能な乗り捨て型レンタサイクル事業またはその仕組みのこと。自転車シェアリング、サイクルシェアリング等とも呼ばれる。本市では、「川越市自転車シェアリング」のことを指す。
コミュニティバス	交通空白地域の解消等を図り地域住民の移動手段を確保することを目的として、市町村等が主体的に計画し運行するバスのこと。
混雑時平均旅行速度	道路交通センサスの一環として行われる一般交通量調査において、調査区間ごとに最も混雑する時間帯（7～9 時、17～19 時）及び方向を実走行し測定した速度の平均値のこと。

## さ行

用語	説明
市街化区域	すでに市街地を形成している区域及び概ね 10 年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域のこと。
市街化調整区域	市街化を抑制すべき区域のこと。
自由通路	既存の停車場内で鉄道と交差し、専ら歩行者、自転車の交通の用に供する道路又は通路等のこと。（国土交通省「自由通路の整備及び管理に関する要綱」の定義を引用）
渋滞長	道路の交差点において、1 回の青信号の時間で通過できず、滞留する車の先頭から最後尾までの車列の長さのこと。
主要地方道	国土交通大臣が指定する主要な都道府県道もしくは市道のこと。高速自動車国道及び一般国道と一体となって広域交通を分担する広域幹線道路と位置づけられる。主要地方道の道路管理者は、必要に応じて国の補助を受けることができる。

用語	説明
生産年齢人口	生産活動に就いている中核の労働力となる年齢の人口のこと。日本では15歳以上65歳未満の年齢に該当する人口を生産年齢人口という。
ゾーン30	歩行者等の安全な通行確保を目的に、区域（ゾーン）を定め、30km/hの速度規制の実施及びその他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における速度抑制と抜け道利用者の抑制を図る生活道路対策のこと。
総合バスマップ	市内で運行している路線バスやコミュニティバス等のバス路線を網羅した路線図のこと。バスの乗り方・降り方やバス運賃、主要駅のバスのりば案内等をあわせて掲載する場合もある。
相互直通運転	旅客輸送需要に応えるため、複数の鉄道会社間で相互に相手の路線に電車を直通運転すること。

## た行

用語	説明
代表交通手段	1つのトリップの中でいくつかの交通手段を利用している場合、集計するにあたって、そのトリップの中で最も優先順位を高く設定した交通手段のこと。パーソントリップ調査（PT調査）の用語であり、代表交通手段を決める優先順位は、鉄道、バス、自動車、二輪（自転車、原付・自動二輪車）、徒歩の順となっている。
滞留長	交差点において赤信号で滞留する自動車の車列の長さのこと。
多極ネットワーク型の都市構造	都市圏内にある複数の拠点が道路、公共交通等で結ばれる都市構造のこと。
地域核	霞ヶ関、南大塚、新河岸及び南古谷の各駅を中心とした生活圏域の中心地のこと。川越市都市計画マスタープランに基づく。地域核は、鉄道駅を中心に旧来から地域中心的商業地としての都市機能及び都市的活動核を補完する機能と地域レベルの行政・文化機能が備わっている。
地域公共交通網形成計画	「地域にとって望ましい公共交通網のすがた」を明らかにする「マスタープラン（ビジョン+事業体系を記載するもの）」としての役割を果たす計画のこと。国が定める基本方針に基づき、地方公共団体が協議会を開催しつつ、交通事業者等との協議の上で策定される。まちづくりと連携し、かつ面的な公共交通ネットワークを再構築するために実施する事業（地域公共交通特定事業など様々な取組）について記載する。（「地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施計画作成のための手引き」の定義を引用）
超高齢社会	高齢化率が21%を超える社会のこと。 ※高齢化率：高齢者人口が占める割合
低炭素社会	温室効果ガスの排出量が少なく、省エネルギー、再生可能エネルギーの活用等が実現した社会のこと。

用語	説明
<p>DID (人口集中地区)</p>	<p>国勢調査基本単位区及び基本単位区内に複数の調査区がある場合は調査区(以下「基本単位区等」という。)を基礎単位として、原則として人口密度が1km<sup>2</sup>当たり4,000人以上の基本単位区等が市区町村の域内で互いに隣接して、それらの隣接した地域の人口が国勢調査時に5,000人以上を有する地域のこと。統計データに基づいて一定の基準により都市的地域を定めたものであり、国勢調査ごとに設定される。総務省統計局の定義に基づく。なお、DIDはDensely Inhabited Districtの略である。</p>
<p>デマンド型交通</p>	<p>利用者のニーズに応じて柔軟な運行を行う予約型輸送サービスの一種。利用者が居住する場所が分散しており、公共交通を導入することが難しい地域で導入することが多い。デマンド交通、DRT(Demand Responsive Transport)ともいう。</p>
<p>東京都市圏パーソン トリップ調査</p>	<p>東京都市圏内の交通実態を把握するために実施する調査の一種。10年に1回、調査日一日の人の動きを調査する。パーソントリップ調査の結果は、公共交通や道路整備等、将来の交通計画を策定する際の基礎資料となる。PT調査(Person Trip調査)と略す場合がある。</p>
<p>道路管理者</p>	<p>道路の整備、管理を行う主体のこと。国道(指定区間外を除く)の場合は国土交通省、指定区間外の国道及び都道府県道の場合はその路線の存する都道府県、市町村道の場合はその路線の存する市町村が道路管理者となる。本交通戦略では、国土交通省、埼玉県、川越市を指す。</p>
<p>道路交通センサス</p>	<p>全国の道路と道路利用の実態を捉え、将来の道路整備の方向を明らかにするため、全国の道路状況、交通量、旅行速度、自動車運行の出発地・目的地、運行目的等を把握する調査(全国道路交通情勢調査)のこと。5年に1回実施する。</p>
<p>都市機能増進施設</p>	<p>医療施設、福祉施設、商業施設その他の都市の居住者の共同の福祉又は利便のため必要な施設であって、都市機能の増進に著しく寄与するもの。都市再生特別措置法に基づく。</p>
<p>都市機能誘導区域</p>	<p>都市再生を図るため、医療施設、福祉施設、商業施設等の都市機能増進施設の立地を誘導すべき区域として立地適正化計画で定められる区域のこと。都市再生特別措置法に基づく。</p>
<p>都市計画道路</p>	<p>都市の骨格を形成する、都市交通における最も基幹的な都市施設として、都市計画法に基づいて都市計画決定された道路のこと。都市計画道路の整備により、渋滞緩和等の道路交通の円滑化、防災の強化等の効果が期待できる。</p>
<p>都心核</p>	<p>中心市街地内の三駅周辺地区から北部市街地に至る南北に長い中心市街地のこと。川越市都市計画マスタープランに基づく。さらに中心市街地内の三駅周辺の商業業務中心地を都市的活動核、北部の伝統的な町並み景観が見られる地区を歴史・水・緑の核に位置づけている。</p>

用語	説明
トリップ	人がある目的をもって、ある地点からある地点へと移動する単位のこと。1回の移動で複数の交通手段を乗り換えても1トリップと数える。
トリップエンド (TE)	1つのトリップの出発側と到着側のこと。なお、TEはTrip Endの略である。

## な行

用語	説明
内方線付き点状ブロック	点状ブロックにホームの内側を示す1本線が追加された内方線付き点状ブロックのこと。鉄道のプラットホームにおいて、視覚障害者等の転落を防ぐための注意喚起の効果がある。
ナンバープレート調査	自動車のナンバープレートを観測し、自動車のルート、方向を把握する調査のこと。
荷捌き駐車	荷物を積み下ろす車両の駐車のこと。
年少人口	15歳未満の人口のこと。
ノンステップバス	車内の段差をなくしたバス車両のこと。

## は行

用語	説明
パーク・アンド・ライド (P&R)	都心の外縁部や都市周辺部の鉄道駅等の駐車場に自動車を駐車させ、そこから乗り換えて、都心部まで公共交通を利用するシステムのこと。なお、P&RはPark and Rideの略である。
バスロケーションシステム	GPS等を用いてバスの位置情報を収集し、バス停の表示板や携帯電話、パソコン等に情報提供するシステムのこと。
発生集中量	パーソントリップ調査において、ある地域から出発したトリップの数（発生量）とその地域に到着したトリップの数（集中量）の合計のこと。単位はトリップエンドである。
PTPS	交通管制システムと連携してバス優先の信号制御を行うシステム、すなわち、公共車両優先システムのこと。Public Transportation Priority Systemの略である。
ホームドア	ホームからの転落や列車との接触事故防止等の安全対策として、プラットホームを壁面で囲い、ドアを取りつけて、列車の乗降に合わせて開閉させるものこと。（『日本の視覚障害者』（平成26(2014)年日本盲人福祉委員会発行）の定義を引用）
バリアフリー	段差等の物理的障壁を除去すること。また、広義では障害者の社会参加を困難にしている社会的、制度的、心理的なすべての障壁の除去という意味でも用いられる。
ボトルネック	赤信号時間の長さや幅員・車線の減少又は不足等が原因となり、渋滞を起こす箇所のこと。

## ま行

用語	説明
モータリゼーション	自家用車が人々に普及すること。
モビリティ マネジメント	「過度に自動車に頼る状態」から、「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に（=かしこく）利用する状態」へと少しずつ変えていく一連の取り組みのこと。（国土交通省の定義を引用）

## や行

用語	説明
優先整備路線	本市の都市計画道路のうち、今後おおむね 20 年以内に本市が主体となって整備する方針の路線（平成 26(2014)年 4 月 1 日公表）のこと。

川越市都市・地域総合交通戦略

平成29(2017)年3月

発行 川越市 都市計画部 交通政策課

〒350-8601 埼玉県川越市元町1丁目3番地1

電話：049-224-8811（大代表）

電話：049-224-5519（直通）

F a x：049-225-9800

E-mail：kotsu@city.kawagoe.saitama.jp

<http://www.city.kawagoe.saitama.jp>